

決議（案）

核分裂エネルギーを利用するあらゆる方式の発電に反対する

日本科学者会議は、これまで現在の原発を未完成の技術としてその危険性を指摘しながら、科学・技術の進歩によっていつの日か安全な原発が完成すると考え、結果的に原発技術を「原子力の平和利用」として容認してきた。

しかしながら福島第一原発事故に遭遇して、われわれは核分裂反応を利用した発電がいかに危険で将来性のない技術であるかについて認めざるをえない事態に立ち至った。

われわれは、原発と核兵器が技術的にも政治的にも緊密な関係にあることを深く考慮し、原発が形を変えた核兵器であると改めて認識し、原発からの撤退が核兵器廃絶に直結することを展望して、日本科学者会議がこれまで原発技術を容認してきたことを真摯に反省し、安全な原発の開発（「原子力の平和利用」という幻想を振り払い、以下決議する。

決議：われわれは核分裂エネルギーを利用するあらゆる方式の発電に反対することをここに表明する。

2014年5月18日

日本科学者会議京都支部第48回定期大会